

総務局総合調整部総合調整課
(担当：池田、高岸 052-972-2221)
(愛知県と同時に発表)

愛知・名古屋 戦争に関する資料館

企画展示「空襲と企業 ―愛知・名古屋の工場防空政策―」を 開催します！

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」(愛知県庁大津橋分室1階 名古屋市中区)では、戦争の体験を次の世代に伝え、平和の大切さを学んでいただくため、県民・市民の皆様から御寄贈いただいた戦争に関する実物資料等を展示し、定期的に資料の展示替えを行っています。

今回の企画展示は、「空襲と企業 ―愛知・名古屋の工場防空政策―」をテーマとして開催し、愛知の航空機工業に係る重要工場の防空政策について取り上げます。

多くの皆様の御来館をお待ちしています。

1 企画展示の概要

- (1) 開催期間 2024年11月15日(金)から2025年3月9日(日)まで
※休館日：月曜日・火曜日(祝日は開館し、直後の平日を休館とします。)
- (2) 時間 午前10時から午後4時まで
- (3) 場所 愛知県庁大津橋分室1階(名古屋市中区丸の内三丁目4番13号)
電話：052-957-3090
- (4) 入館料 無料
- (5) テーマ 空襲と企業 ―愛知・名古屋の工場防空政策―

戦前、航空機生産の一大拠点であった名古屋。その名古屋が狙われた空襲は、60回以上に及びました。戦時中、愛知県と名古屋市は、国策に沿って、爆撃目標となる軍需・航空機工業に係る重要工場の防空政策を決定し、延焼を防ぐための建物疎開空地を強力に進めたことで、防空都市名古屋と言われるまでになりました。

1944～45(昭和19～20)年、空襲が頻度と激しさを増していく中、航空機企業が工場疎開を余儀なくされていく過程を紹介します。

- (6) 主な展示物 名古屋城偽装工事図面、焼夷弾^{しょうい}の筒、空襲に遭った茶壺 等

2 主催

戦争に関する資料館運営協議会(愛知県と名古屋市が共同で2015年4月に設置)

3 問合せ先

○愛知・名古屋 戦争に関する資料館

電 話：052-957-3090 F A X：052-957-3091

○戦争に関する資料館運営協議会事務局（愛知県県民文化局県民総務課内）

電 話：052-954-6160 F A X：052-961-1310

4 その他

当館では年間を通じ、以下の常設展示を行っています。

（企画展示の開催に合わせ、常設展示の展示資料についても一部入替えを行っています。）

（1）戦争に関わる地域史

名古屋空襲を中心に、戦前の都市化・工業化、戦中の動向など、この地域で起こった出来事の資料を展示。

（主な展示物：250 キロ爆弾、E46 収束焼夷弾（模型）、灯火管制用電球 等）

（2）県民の戦争体験Ⅰ（銃後の暮らし）

戦時体制下のこの地域における県民の生活や学校教育などの資料を展示。

（主な展示物：慰問袋、千人針、木銃 等）

（3）県民の戦争体験Ⅱ（軍隊・戦地）

県民の軍隊生活や戦場体験などの資料を展示。

（主な展示物：奉公袋、軍隊手帳 等）

（4）戦後の地域史

戦後改革、戦地からの復員、復興とまちづくりなどの資料を展示。

（主な展示物：捕虜が家族に宛てた手紙、木で作ったスプーン・フォーク 等）

【参考：「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」の概要】

場 所	愛知県庁大津橋分室 1 階（名古屋市中区丸の内三丁目 4 番 13 号）
開館日・開館時間	水曜日～日曜日（週 5 日）午前 10 時～午後 4 時
休館日	月曜日・火曜日（祝日は開館し、直後の平日を休館とする。）、 年末年始、その他展示替え等による臨時休館あり。 夏休み期間中（7 月 21 日（日）から 8 月 31 日（土））、あいち ウィーク期間中（11 月 21 日（木）から 27 日（水））は無休
入館料	無料